

出雲大好き♡

1ターンの女子の職場を訪問!

その5

よしだのぶこ
吉田信子さん
(有限会社 坂根屋)

出雲大好き1ターン女性支援事業を活用している皆さんの働く姿を紹介する第5弾です。

吉田さんは、今年2月に神奈川県から移住し、(有)坂根屋大社店で働いています。

移住のきっかけは、昨年11月に東京で開催された1ターンフェアへの参加です。「フェアの会場で、島根で活躍している方と話をしたのがきっかけで移住を決め、もともと茶道をしていたので、好きな和菓子のお店に入社しました。」と語ります。

店長の三木康夫さんは、「お客様に商品の良さをいねいに伝え、ひとつひとつの作業を確認しながら仕事を進めていくところは彼女らしいです。プライベートでも地域で仲間を見つけて、充実した生活を送ってほしいですね。出雲に根付き、盛り上げてくれたら。」と話します。「出雲に来てから衝撃を受けたのが、家賃が安いこと。見切り発車で来てしまったので、家賃助成金はとても助かっています。」と話してくれました。また、「先日、体調を崩したときに職場の先輩に、どこの病院に行ったらいいか尋ねたところ、送り迎えをしてくださり、本当に嬉しかったです。」とあたたかいエピソードも聞かせてくれました。

本と和菓子が好きな吉田さんは、「本の好きな方と最近出会ったので、本に関するイベントなどができればいいですね。そして茶道を再開したい。教室や家元のところへ習いに行けたら。」と今の想いを語ってくれました。

出雲での生活の意気込みを語る吉田さん。「出雲大好き1ターン女性」としての今後の活躍に期待します。



接客の様子



笑顔で店頭立つ吉田さん

出雲大好き1ターン女子のみなさんのブログを「いずも暮らし」『FROM NOW ON, IZUMO』で公開しています。
<http://izumonakurashi.jp/izumoblog/>

おたずね/縁結び定住課 ☎21-6629

OH!

地産地消コーナー まいがな出雲!

まいまい
Vol.7 米米田んぼ

◎米米田んぼって?

斐川地域にある学校給食専用の田んぼです。斐川学校給食センターで使うお米は全て米米田んぼでできたもので、一般的な米の栽培方法に比べ、50%の減農薬・減化学肥料で作られています。春と秋には、小学生が田植え・稲刈り体験を行い、「食」と「農」への関心を高めてもらう場にもなっています。

今回は、この米米田んぼの生産者である農事組合法人上直江ファームの江角典広さんにお話を聞きました。



上直江ファームの江角典広さん



今年の田植え体験の様子(6月2日)

◎田植え・稲刈り体験の様子を教えてください!

「今年の田植えには荏原小と中部小の5年生が参加し、みんな楽しんでいました。田植えのときには、まっすぐ均等に苗を植えられる

地元でとれる食材のおいしさを再発見してもらい、積極的に消費してもらいたい! 地元食材や生産者に親しみをもってもらい、地域への愛着を深めてもらいたい! どの思いで、毎月いろいろなお届けします。

今月の担当 農業振興課 ☎21-6557

よう、私たちが事前に『ばば引き』という作業をして目印の線をつけます。これが人力なので結構大変です。でも小学生にも、自分たちが作業する田んぼは最後までやる、ということで、仕上げを機械でやってしまうことなくがんばってもらっています。」

◎準備など大変なようですが、どんな思いで取り組まれていますか?

「やっぱり地域協働の気持ちですかね。小学生が田植え・稲刈りをするときは、農業委員さんや、市やJAの職員さんも出かけられます。地域と、地域の農業のためにみんなでやる、という感じです。」

こうした体験活動以外でも、日頃から土づくりや肥料をやるタイミング、病害虫対策などに気を使い、おいしいお米ができるよう励んでおられるとのこと。その思いは米米田んぼに限らず、全ての生産者さんがお持ちのことだと思います。私たちも農家のみなさんに感謝し、地元のお米をおいしくいただきたいですね(๑^∩^๑)